

1 申込方法 氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を記入の上、「3月5日伊豆文学 参加希望」と明記した、はがき、ファクシミリ、Eメールのいずれかで、下記申込先へお送り下さい。

電話での受付もいたします。

2 定員 600人

定員になり次第締切ります。

3 申込・問合せ先 静岡県文化政策課内

伊豆文学フェスティバル実行委員会事務局

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2254

FAX 054-221-2827

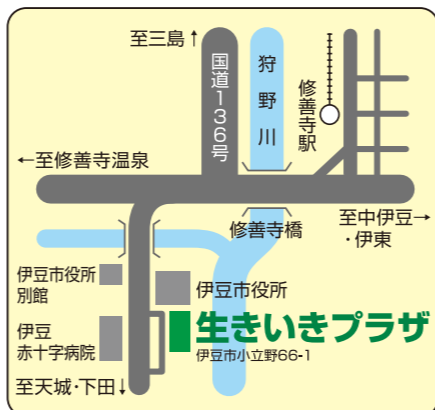
E-mail info@izufes.net

4 アクセス 交通機関:伊豆箱根鉄道修善寺駅

から徒歩10分

会場住所:伊豆市小立野66-1

当日、会場付近は混雑が予想されます。
お越しの際は、できるだけ公共交通機関
をご利用ください。



(切り取らずこのまま送信してください)

伊豆文学塾 FAX申し込み用紙

	ふりがな 参加者氏名	郵便番号 住所	電話番号
1		〒	() -
2		〒	() -
3		〒	() -

伊豆文学
フェスティバル

第20回伊豆文学賞表彰式・
伊豆文学塾

入場
無料

とき：平成29年3月5日
午後2時～午後4時

会場：修善寺生きいきプラザ(伊豆市)



伊豆文学塾出演作家(予定)



村松 友視

1982年『時代屋の女房』で第87回直木賞、97年『鎌倉のおばさん』で第25回泉鏡花文学賞を受賞。『幸田文のマッチ箱』、『淳之介流やわらかい約束』などの評伝的作品を精力的に発表。第1回から伊豆文学賞審査員。



嵐山 光三郎

1988年『素人庖丁記』で第4回講談社エッセイ賞。00年『芭蕉の誘惑』で第9回JTB紀行文学大賞。06年『悪党芭蕉』は第34回泉鏡花文学賞及び第58回読売文学賞。第10回から伊豆文学賞審査員。



太田 治子

父は太宰治、母は『斜陽日記』の太田静子。17歳で『手記』を書き、『新潮』に発表。1985年『心映えの記』で第1回坪田譲治文学賞を受賞。『明るい方へー父・太宰治と母・太田静子』など。第10回から伊豆文学賞審査員。

第20回伊豆文学賞表彰式

14:00～14:40 審査講評 受賞のこたば

【伊豆文学賞とは……?】

「伊豆の踊子」や「しろばんば」に続く新たな文学作品や人材の発掘と、文学に親しむ機会の提供を目的に、伊豆をはじめとする県内各地を題材とした文学作品を募集、審査、表彰しています。



伊豆文学塾

14:50～15:50 審査員の作家による文学座談会

【伊豆文学塾とは……?】

伊豆文学賞(平成9年度創設)表彰式と同時開催する文学イベント。主に県東部地域を会場に、文学に親しむ機会として本県と関わりが深い文学作品や作家などをテーマに、講演会や座談会を開催します。



